



外国人と日本人がお互いに快適に暮らすことができるまちを目指して

～北上市多文化共生のまちづくり～

問い合わせ 生涯学習文化課 ☎72-8303

皆さんの身近なところで外国人を目にすることが多くなってきたと感じませんか。

展勝地や夏油高原などへの観光で市を訪れる外国人は年々増加し、29年には2万人を超えました。また、市内で生活する外国人も、雇用情勢の変化などにより年々増加。30年5月末現在で570人を超え、今後さらに増加すると見込まれています。

これからは、外国人を特別な存在としてとらえるのではなく、同じ地域に住む市民としてみんな仲良く、快適に暮らしていく必要があります。そのためには、さまざまな文化や知恵を持ち寄り、外国人にやさしい多文化共生のまちづくりを進めて行くことが大切です。

多文化共生とは

多文化共生とは「国籍や民族等のちがいかかわらず、すべての人がお互いの文化的背景や考え方を理解し、地域社会を支える主体としてともに生きること（岩手県多文化共生推進プランから）」とされています。国は、18年に「地

域における多文化共生推進プラン」を策定し、地方自治体に対して、地域の実情と特性を踏まえて、多文化共生に係る指針を策定するよう促しています。

北上市多文化共生指針

市は、28年2月に「北上市多文化共生指針」を策定しました。県内3例目となる同指針は、ごみの出し方や防災情報への入手、医療機関の受診など外国人にとって身近な場面での不便さの軽減、国際理解の推進など国際化に向けた対応方法の方向性を定めたものです。

同指針に基づき、快適なまちづくりを進めていくためには、市民の皆さんの理解と協力が欠かせません。指針の内容は、市および北上市国際交流ルームのホームページからご覧いただけます。

国際交流ルーム

多文化共生・国際理解に関する市民へのアドバイスや、外国人相談などを行う北上市国際交流ルームを生涯学習センター内に設置しています。困りごとがありましたら気軽にご相談ください。

▼国際交流ルーム(おでんせ



心肺蘇生法を学ぶ参加者

ブラザグロー1ぶ3階)：毎週月土曜日午後1時〜7時 ☎63-4497(日曜日、祝日、第3水曜日、年末年始は休館)

防災に関する取り組み

昨年10月、北上地区消防組合消防本部で、消防防災講習会を開催しました。外国人9人が参加し、119番通報や心肺蘇生法を体験し、緊急時にとるべき行動や課題を共有しました。

参加者からは「通報者、消防、通訳の三者通話により母国語で通報でき、安心した」「救急車の呼び方が分かったのでよかった」「災害を知らせる緊急メールは日本語の漢字が難しくて読めない」などさまざまな声がありました。

市は今後、出された意見などを外国人を災害から守る仕組みづくりに生かしていきたいです。

「北上市多文化共生事業費補助金」のご案内

市内の観光施設や飲食施設などを営む事業者や自治会などが行う多文化理解につながる事業に、補助金を交付します。

▼対象事業：市内で行う無料公衆無線LAN整備事業などで、31年2月末までに完了するもの

▼補助額：対象経費の2分の1(上限20万円)

▼申請：随時受け付け。ただし、予算の範囲内での補助となりますので、事業着手前に必ず生涯学習文化課へご相談ください

▼活用例

【自治会】料理教室や外国語講習、災害時の避難所運営を想定したワークショップなど
【民間事業者】宿泊施設や商業施設における無料公衆無線LAN・多言語パンフレットなどの整備、社員向けの英会話講習など

▼問い合わせ：生涯学習文化課へ

コンコード市訪問団を歓迎する折り鶴にご協力を

北上市とコンコード市(アメリカ合衆国カリフォルニア州)は、1974年に姉妹都市を提携しました。その後は、市民訪問団による相互訪問、英語指導員の招へいなど交流を深めています。

2019年には姉妹都市提携45周年を迎え、その記念としてコンコード市から訪問団が市を訪れます。今後さらに交流を深めていくことを願い、市民の手で折られた折り鶴による記念作品を作り、歓迎の気持ちを伝えます。現在、約4万5千羽が集まりましたが、目標の10万羽に向けて引き続き募集しています。折り紙の配布先および折り鶴の届け先は、生涯学習文化課または北上市国際交流ルーム(いずれも生涯学習センター内)です。皆さんの協力でコンコード市の皆さんを歓迎しましょう。